



オールをこいで北上川を下るクルーたち—石巻市水明南

熟年クルー—北上川「漕破」

ベテランクルーたちの夢実現。岩手を源流に石巻市の河口に注ぐ北上川で23、24の両日、熟年世代のボート愛好者たちが川下りに挑戦した。岩手県平泉町から河口近くまでの約95キロを「漕破」。急流や浅瀬も難に乗り越え、雄大な流れと川面からの絶景を楽しんだ。

関東の大学ボート部OBで構成する「良い会」(大隅多一郎会長)が主催し、石巻ボート

関東の大学OB、石巻からも参加

絶景堪能、95キロ夢の旅 日焼けの顔に充実感

協会から5人が協力し、6人ごきのボート4隻に分乗。陸上からのサポートも含めて54〜76歳の約40人が参加した。平泉町をスタートした初日は、県境を越えて登米市までの約55キロをこいだ。2日目は脇谷関門(こうもん)を通過して旧北上川に進み、河口付近の石巻商高艇庫前に着岸。クルーたちは日焼けした顔に充実感をじませ、互いに健闘をたたえ合っていた。

石巻ボート協会に所属して現役を続ける石巻市中屋敷一丁目の会社経営阿部貞男さん(61)は「天候に恵まれて穏やかな流れだった。平泉周辺の絶壁など、景色も美しかった。毎年来てほしい」とボートの旅を満喫。大隅会長(66)は「長大で真つすくな流れの北上川をこぐことは夢だった。全国でもベストな環境のうちの一つ。今回をモデルにして、誰でも川下りができるようになったらうれしい」と話していた。